

介護・障害福祉分野 就職支援金貸付事業

他業種で働いていた方々の介護・障害福祉分野における介護職への参入を促進するため、返済免除つき貸付事業を令和3年度から開始します。

詳しくは、沖縄県福祉人材研修センター(沖縄県社会福祉協議会内)までお問い合わせください。

【問合せ先】

沖縄県福祉人材研修センター TEL:098-882-5703/FAX:098-886-8474

介護分野就職支援金の創設 20万円



ホームヘルパー 訪問介護員の確保

訪問介護では、介護が必要な高齢者の自宅を訪問し、掃除・洗濯・調理・買い物等の「生活支援」や入浴・排せつの介助等の「身体介護」を行います。子育てが一段落してから始める方も多く、60代・70代で活躍されている訪問介護員(ホームヘルパー)もたくさんありますが、県内では、高齢者人口の増加や住み慣れた在宅での介護を希望する方の増加等により訪問介護員(ホームヘルパー)の不足が顕著となっています。

そのため、沖縄県では、訪問介護の仕事の魅力発信や、資格取得への支援を行い、訪問介護員(ホームヘルパー)の確保に取り組むこととしています。

■一般的な訪問介護職の特徴

- ①女性の多い職場です(約9割)。力仕事ができる男性も求められています。
- ②他の介護サービスと比較して、時間の融通が利くパート勤務(非正規雇用)の方が多いです(約5割)。
- ③何歳からでも勤め始めることができ、また、長く務めている方が多く、60歳以上が約3割を占めています。
- ④他の介護サービスとは異なり無資格では行えず、「介護職員初任者研修」を修了している必要があります。
- ⑤経験を積んだら、基本的に一人で高齢者の自宅を訪問することになります。そのため、一人で臨機応変な判断・対処が求められる場面もあります。

沖縄県・国・関係機関の求職者への支援策

沖縄県をはじめ、国や関係機関において、介護職への求職者を対象にしたさまざまな取り組み・支援を行っています。主な内容は下記の通りになります。

介護に関する入門的研修事業

沖縄県では、本島や離島の各地域において、介護未経験者を対象に、介護に関する基本的な知識や介護の業務に携わる上で知っておくべき基本的な技術を学ぶことができる研修を無料で実施します。

県内離島への就職支援

沖縄県では、県内または県外の介護専門職(介護福祉士、介護支援専門員、介護職員初任者研修修了者等(就職後の資格取得も含む))が離島の介護事業所に就職し、3ヶ月以上就業した場合に、渡航や引越等の就職に要した初期費用を事業所を通して補助します。

介護事業所とのマッチング

- 各ハローワークでは職業紹介とともに、ミニ企業説明会等において介護事業所の紹介を行っています。
- 沖縄県福祉人材研修センターでは、福祉や介護の職業紹介とともに、職場説明や面接会等を行っています。

求職者への資格取得支援

県内各ハローワークでは、就職支援の一環として「介護職員初任者研修」や「介護福祉士実務者研修」の資格を取得するための公的職業訓練等のあっせんを行っています。また、県でも、県高齢者福祉介護課、県労働政策課(委託訓練)、母子家庭等就業・自立支援センターにおいて、資格取得の支援を行っています。

修学資金の貸付け

沖縄県福祉人材研修センターでは、介護福祉士養成施設や福祉系高校の学生(R3新規)、介護福祉士資格取得のための実務者研修受講者等への修学資金の貸付けを行っています(返還免除制度あり)。

介護・障害福祉分野就職支援金の貸付け

沖縄県福祉人材研修センターでは、新たに介護職に就く方(他業種で働いていた方等で一定の研修等を修了した方)に対する、就職支援金の貸付けを令和3年度から開始します(返還免除制度あり)。



その他の詳しい情報はこちらから

🔍 沖縄県 介護人材確保対策

検索

<https://www.pref.okinawa.lg.jp/site/kodomo/korei/zinnzaikakuho.html>